

Laravelプロジェクトベース

環境構築の前に

- 自身のDockerを最新のバージョンにアップデートする

※アップデートしていない場合、下記のエラーが発生することがございます。

<https://stackoverflow.com/questions/77170536/laravel-sail-vendor-bin-sail-up-d-errorcode-100>

- .envファイルを作成

※コマンドで作成できない場合は、手動で作成しましょう。

```
// macの場合
cp .env.example .env

// windowsの場合
copy .env.example .env
```

環境構築

- Dockerファイルを基にキャッシュを使用せずにDockerイメージをビルド

```
docker compose build --no-cache
```

- Dockerイメージを基にDockerコンテナを作成、起動する

```
docker compose up -d
```

- APP_KEYを設定する

laravelコンテナのコマンドラインインターフェースにアクセス

```
docker compose exec laravel.test bash
```

```
php artisan key:generate
```

```
// .envの以下項目が空白ではなく文字列が入っていることを確認
APP_KEY=
```

- URLにアクセスしサーバーが立ち上がっているか確認する。

```
http://localhost:3000
```

環境構築完了後、開発を進めたい時は

- Dockerイメージを基にDockerコンテナを作成、起動する

```
docker compose up -d
```

- ブラウザからURLでアクセスする

```
http://localhost:3000
```

Laravelコマンドを使いたい時は

```
laravelコンテナのコマンドラインインターフェースにアクセス  
docker compose exec laravel.test bash
```

```
// 以下の表示になればOK  
/var/www/html#
```

DBをGUIで操作したい時は

DBをGUIで操作したい場合、以下のようなツールがあります。

実務でもよく使われるため、インストールして今から使い方に慣れておきましょう。

- [pgadmin](#)
- [dbeaver](#)

バージョン情報

name	version
PHP	8.2.12
Laravel	10.30.1

導入済みgem

- [ライブラリ名](#)